

ジブチ月例報告 (2023年3月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

- 3月2日、憲法院は2月24日に実施された国民議会選挙の最終結果を発表（投票率74%）。獲得議席数は暫定結果と同様の与党連合UMP 58議席、野党UDJ 7議席。
- 3月2日、ゲレ大統領は、国民議会選挙について、平穏で透明性を有し、秩序だったものであったと評価。
- 3月5日、国民議会において臨時議会が開催され、新たな議長として Dileita Mohamed Dileita 元首相が選出。また、第1副議長に Safia Elmi Djibril 議員、第2副議長に Omar Ahmed Waiss 議員が就任。
- 3月7日、ゲレ大統領は新たな国民議会議長に就任した Dileita Mohamed Dileita 元首相と会談を実施。
- 3月21日、2023年第1回通常国会が開会。同開会式にアブドゥルカデル首相を始めとする閣僚、各州知事及びジブチ駐在の外交団代表が出席。

【外政】

- 3月1日、ジブチ外交研究所（IED）は仏の研究所 Fondation Méditerranéenne d'études stratégiques と共同でウクライナ情勢によってもたらされた新たな地政学的状況に関する3日間のセミナーを開催。同セミナーにユスフ外務・国際協力大臣、プルカレスキュ駐ジブチ仏大使、モハメド IED 所長が出席。
- 3月5日及び6日、ゲレ大統領は第5回国連後発開発途上国（LDC）会議に参加するため、ユスフ外務・国際協力大臣、イリヤス経済・財政大臣とともに、カタールを訪問。5日、タミーム・カタール首長との首脳会談を実施。
- 3月7日、ゲレ大統領は3月4日からジブチを訪問していた Alemu Sime エチオピア運輸大臣と面会。ジブチ・エチオピア間の運輸、貿易といった分野における戦略的な発展について協議。
- 3月8日、バードン法務・刑務大臣はサウジアラビアで開催された国際司法会議に出席。同会議のマージンで、Walid Bin Mohammed Al-Samani サウジアラビア法務大臣、Abdullatif Ouahbi モロッコ法務大臣と会談を実施。
- 3月11日、ゲレ大統領は習近平国家主席に対して、これまでの強固なジブチ・中国関係に触れつつ、再選への祝意を表明。
- 3月11日、アブドゥルカデル首相は李強・中国首相の就任に対して、成功と達成を祈念する旨の祝意を表明。
- 3月11日、ジブチ政府はサウジアラビアとイランとの間の国交回復に向けた合意について、歓迎する旨を発表。

- 3月13～15日、オマール労働大臣はエチオピアで開催された第4回移民に関する地域閣僚会合に出席。同会合には、政府間開発機構（IGAD）及び東アフリカ共同体（EAC）の2つのアフリカ地域経済共同体（RECs）から11か国の閣僚が参加。
- 3月23日、ムスタファ国民教育・職業訓練大臣出席のもと、ジブチ孔子学院の開校式が開催。同大臣はジブチと中国との間の文化的、人的関係のさらなる強化を期待する旨を述べた。

【経済・開発】

- 3月2日、Slim Feriani ジブチ・ソブリン・ファンド（FSD）総裁と KASADA Capital Management（KASADA）社の共同設立者である Olivier Granet・KASADA 社 CEO 及び David Damiba・KASADA 社 CIO は観光分野に関するMOUに署名。KASADA 社は南アフリカに拠点を置くサブサハラ地域のホテル業界を専門とする投資企業。
- 3月6日、第5回国連LDC会議において、ゲレ大統領はこれまでのLDC会議で策定された行動計画の成果を適切に評価し、LDCの開発を刺激する効果的な策をとる必要性について言及。
- 3月12～15日、ヨニス・エネルギー大臣はアルジェリアの招待を受けてアルジェを実務訪問。期間中、同大臣は Mohamed Arkab アルジェリア・エネルギー鉱業大臣と会談を実施するとともに、両大臣は炭化水素及び鉱業分野における二国間協力に関する覚書に署名。
- 3月21日、ユスフ外務・国際協力大臣は Ramih bin Mohammed Al-Rumaih サウジアラビア運輸・物流副大臣をヘッドとする代表团と面会。同面会において、ジブチにおけるビジネス、特に輸送・ロジスティックスに関する議論が行われた。

【保健・衛生・社会】

- 3月5日及び6日、2023年から2027年までの国家社会保障戦略（Stratégie Nationale de Protection Sociale）及び同戦略における行動計画に関するワークショップが開催され、ウルファ社会問題・国民連帯大臣、エマ・ジブチ国連開発計画ジブチ事務所常駐代表らが出席。
- 3月8日、ゲレ大統領を始め、アブドゥルカデル首相、ムナ女性・家族大臣、カドラ大統領夫人らは、国際女性デー式典に出席。
- 3月9日、中国企業チャイナ・マーチャント・グループによるダリエル孤児院へのミニバス及びおもちゃの寄贈式が開催。同式典にはウルファ社会問題・国民連帯大臣、ハディ港湾フリーゾーン長官、フー・ビン駐ジブチ中国大使らが出席。
- 3月20日、ゲレ大統領はクウェートとのパートナーシップによって設立したイスラム教に関する Al-Wassatiya 研究所の開所式に出席。
- 3月26日、アフメッド保健大臣、ヴァンデヴェールト世界保健機関（WHO）ジブチ常駐代表、Agostina Palese 駐ジブチ・イタリア大使の出席のもと、医療用救急車6

台の贈与式が開催。同プロジェクトはWHOを通じたイタリアの協力によって実施。

●3月29日、アフメッド保健大臣は母子健康増進を目的とした活動に関するワークショップを開催。2023年1月からUNICEF及びWHOと共同で開始した母子の健康指標の改善を目的としたプロジェクトの一環として実施。

【軍事・治安】

●2月27日～3月3日、オマール労働大臣はアディスアベバで開催された第2回労働・雇用・労働移民に関する閣僚会合に参加。同会合は、EUとスイス政府の資金協力による政府間開発機構（IGAD）地域における人の自由な移動と牧畜に関するプロジェクトの一環でIGADが開催。

【日本関係】

●3月7日、イブラヒム・ビレ駐日ジブチ大使は令和3年度対ジブチ無償資金協力「海上保安能力向上計画」によってジブチ沿岸警備隊に供与される35m級巡視艇2隻の建造開始式に出席。

●3月9日、大塚大使は、ムナ女性・家族大臣とともに世銀日本社会開発基金を通じて日本政府が拠出する「ジェンダーに基づく暴力に対する女性とコミュニティのレジリエンス強化プロジェクト」のラウンチングセレモニーに参加。

●3月11日、ジブチ市内の東京広場において、JICA研修同窓会（ASS-JICA）主催による東日本大震災による犠牲者への追悼式が開催され、ジブチ人JICA研修参加者、市民団体、在留邦人、自衛隊海賊対処派遣部隊が参加。金田JICAジブチ事務所長、大塚大使のスピーチの後、震災の犠牲者に対して追悼と連帯の意を捧げた。

●2月24日～3月12日、Mouna Ismael Abdou 視学長官、Loula Ali Elabe 公教育局長、Adil Saleh Ali 視学官等から成る国民教育・職業訓練省の代表団がJICAの招へいによって訪日し、日本の小学校における算数教育を視察。

●3月13日、大塚大使は新たに就任したDileita Mohamed Dileita 国民議会議長を表敬訪問し、就任の祝意を表明。両者は強固な二国間関係のさらなる発展に向けて貢献する旨を確認。

●3月18日、初等教員養成校（CFEEF）で活動していた佐々木綾香JICA海外協力隊員が2年間の任期を満了し離任。2000年以降、JICAはジブチに157名の海外協力隊を派遣し、現在は7名の隊員が活動中。

●3月20日、JICAはOne and Indivisible Youth Mouvement と共同で「若者の創造性とイノベーションの促進」をテーマとするワークショップを開催。

●3月23日、ドラレ多目的港は商船三井の船舶 MV Aquarius から欧州向けのトランシップとして車両277台を荷揚げ。

（了）